

SANS



Dieu Rien

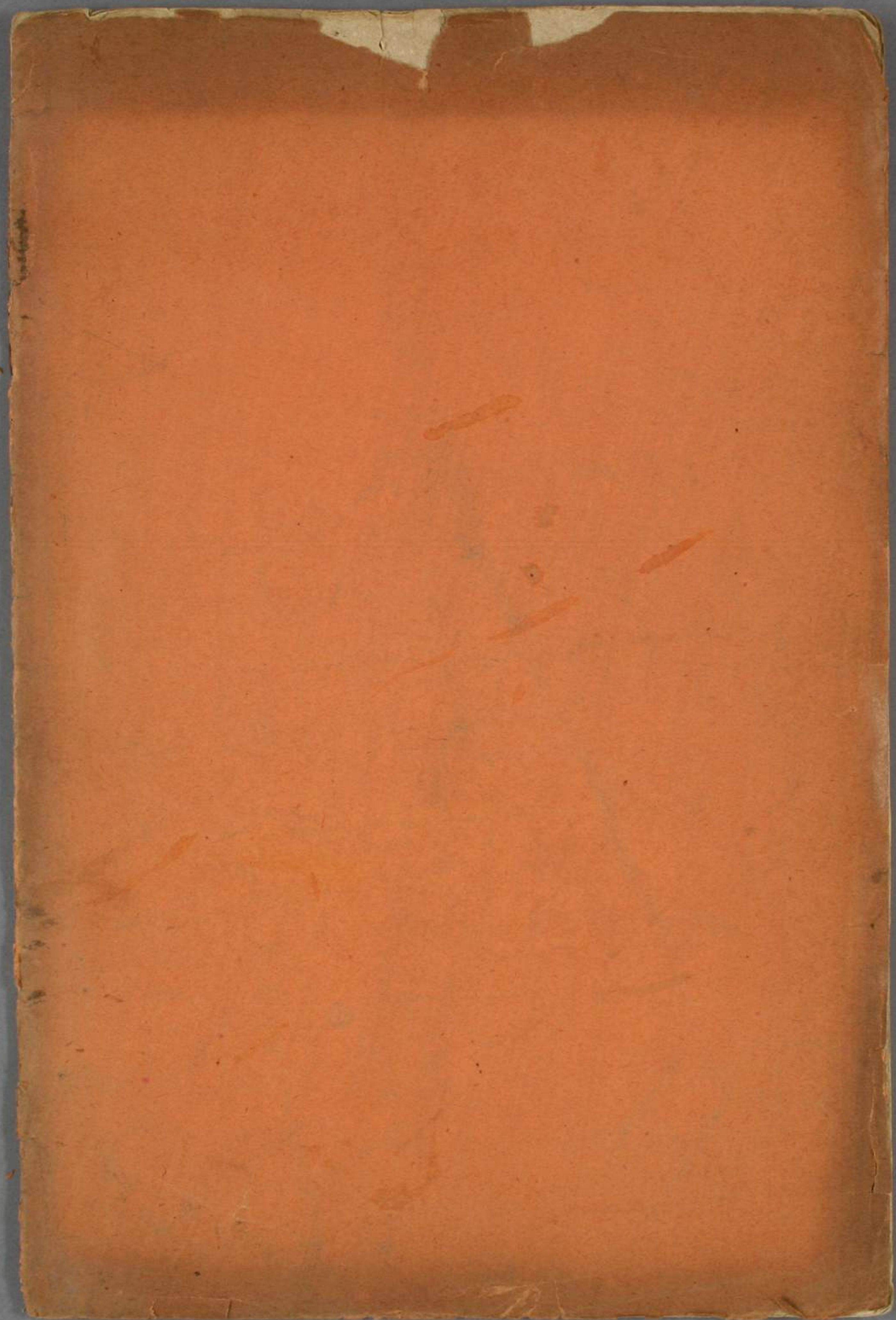
處世之詩

白星 平木照雄作歌
東京唱歌學校長酒井勝軍作曲

東京 太平洋館出版







唱歌法注意

一般の唱歌法につきては拙著唱歌法及英詩朗吟法等に審かなるを以て茲には唯此處世の詩を歌ふ時の心得のみを述べし、偕て歌うたふ前に最も注意すべきは其歌詞の意義を熟知し其心を以ておのが心となすにあり、さればゲーテの詩なりとて之を歌ふ時は巴が詩と思ふべく決して人の筆にて成りしものと思ふべからず而して其心に達しなば聲は自然に出づるものと知るべし、されば此詩を歌ふものは人生問題につき確乎たる信仰を以て世に處し居るものならざるべからず、此心なくしては幾百度此歌をうたふとも何の益もあるなく作歌者及作曲者の苦心も空しかるべし、次に此詩は八節より成るも曲は唯一つのみ、八節の文意己に相違あるに同じ曲を以て歌ふことは如何にも物足らぬ心地すべきも決して然らず作歌者が八節に苦みたる如く作曲者は同じ苦みを一曲中になし居るものにして此曲は此處世の詩ならば何れの節にも必ず適する様作りしものなれども同じ曲にもせよ己に歌詞の異なる以上は同じき發相を以て歌ふべからざるは明かなることなり、されど今茲に一節毎に其發相を示すは繁に過ぐるを以て其一節のみを示し他は吟者の意に任すこととせん、

今日かくも 我が生れしは

日々に一斗の 汗をばふるひ

以上はなるべく落ちつきて今おのれ幾万の人の前におのが人生問題を解き明かす時の如

くあるべし、されば一字一句熱誠なるを要す

わかきかひなに　そもいくばくの

語調急に沈静となり此瘡腕何程のをもなしうべしとはおぼわされども心謙遜にかまひ而もそれでもといふ氣を失ふべからず

ひとを福ひするやをためし

漸く語調を早め且つ強くしこれ見よといはぬばかりの姿となるべし

人生虚無と

聲を曇らし所謂虚無の意を示すを要すされど余りに聲を弱くすべからず

さゝやくあらば

恰もさゝやくが如く聲を弱め

いなと直ちに答へんためぞ

聲を急に強め斷乎たる語調にて歌ふべしされど余り急ぐに及ばず

つとむべきかな　ア、歌ひつゝ

始めの「今日かくも云々」と同じ但し快活に歌ふべし。

右は唯其一例に過ぎず斯く解剖し來れば卻々面倒なるが如きも決して然らずおのが心にして此詩の心と合一せんには斯る發相は學ばずして得るものなるを忘るべからず

尙ほ各節の末行は作曲者の意にて少しく變更しあれば歌ふ時は第一節の例によるべし

作曲家しるす

Confiducia (コンフィデシア) 望みと信念を以て歌へとの義。

Moderato (モデーラート) 中度の速さにて。

Unison (ユニゾン) 聲を合はして。

此曲は四重音より成り居るものにして正曲は最高音部 (Soprano) にあり、されば獨唱せんころ時は固より正曲を歌ふべきものとす、されど四部合唱せば尙數倍の興味を感ずる様になしあるなり尙初學者のために此曲中の何れが正曲なるやを見易からしむるために一言せんに則ち音符に附ける棒又は旗の如きものが上方にあるもの則ち正曲なりと知るべし。

平木白星
con fiducia moderato.

處世の詩

酒井勝軍

こんにちかくもわがうまれしは

(〜調) 5 5 1. 1 | 2 3 1- | 5 5 3. 1 | 2 3 2-

日一日に一斗のあせなばふるひ

5 5 1. 1 | 2 3 1- | 5 5 3. 1 | 2 2 1-

わかきかひなにそもいくばくの

3 2 1 4 4 3 2 | 5 5 4 3 2 1 2

unison

ひさをさひはいするやなためし

5 6 7 1 7 1 2 | 3 2 3 4 5 4 3

人生虚無とさしやくあらば

4 2 3 1 | 2 3 2 1 6 6 2

いなとたゝちにこたへんためぞ

5 3 1 4 4 3 2 | 1 2 3 5 6 7 1

つとむべきかなアいうたひつ

5 5 1. 1 | 2 3 1- | 5 5 3. 1 | 2 3 2-

つとむべきかなアいうたひつ

5 5 1. 1 | 2 3 1- | 5 5 3. 1 | 3 2 1

處世の詩

一

今日かくも我が生れしは
日々に一斗の汗をば揮ひ
わかき腕にそもいくばくの
人を幸ひするやを驗し、
「人生虚無」と囁くあらば
「否」と徑ちに答へむ爲めぞ
勉むべきかな、歌ひつゝ、
噫嘻、謳ひつゝ、

二

今日かくも我が勤むるは



家を受するそのみならで
苦の樂を悟るがゆるぞ、
業を了りて一息すれば
天の凱歌雙耳に聞え
戀に不滅の慰藉あれば
働かむかな、歌ひつゝ、
噫嘻、謳ひつゝ、

三

今日かくもわれ働きて
過去に罪無く悔あらざれば
胸は芙蓉のいろより白く、
將來に些の惑ひなければ



暁、星より且つ衆かに
 天に對して微笑みながら
 樂まむかな、歌ひつゝ、
 噫嘻、謳ひつゝ、

四

我は今日かく樂みて
 公、侯、伯にいささか愧ぢず
 徳は五人の師たるに足れば
 我は五人の至尊にして
 識は半世を救ふに足らば
 我は半世の帝王なりと
 信すべきかな、歌ひつゝ、
 噫嘻、謳ひつゝ、



我は今日かく信すれば
 十指は他の爲め勞するも
 秋の巖と心は堅く
 苟初めだにも虚誕言はず
 高く正しく自己を持して
 我が一髪も輕んずるなく
 大ならむかな、歌ひつゝ、
 噫嘻、謳ひつゝ、

五

我と命運ひとしき星は
 無窮の空に一つあれども

六



天職、我と同じき人は
 悠久の土に我のみなれば
 縦しや、死すとも七たび活きて
 一事を爲さでなご已むべきか
 試みむかな、歌ひつゝ、

七

天の彼方に眼を注ぎ
 全力をもて事に當らば
 我に憚るいかなる敵ぞ、
 踵確に歩一歩すれば
 心膽天の羽羽矢の如く
 高くも遠く勇みにいさみ

奮ふべきかな、歌ひつゝ、
 噫嘻、謳ひつゝ、

八

「實」は何ぞ、そは我なれば
 まッこの如く歌をも吟じ、
 「美」は何ぞや、そは我なれば
 聲は啾唳宇宙に韻き
 いはゞ「神」は我がことなれば
 唱ひ唱ひて霄のあなたに――
 ああ陸かむかな、歌ひつゝ、
 かくうたひつゝ、

處世の詩終



新刊廣告

東京唱歌學校長酒井勝軍君著

英詩朗吟法

正價二十錢 郵税二錢

英詩朗吟より来るべき利益は興味多き英詩をして一層興味を多からしむるに共に英語の發音を正確にし思想を健全にする等枚舉に遑あらず、今や英詩朗吟の聲高ければ是が説明をなせるものなし、本館之を遺憾とし斯界に令名ある酒井先生に乞ふて本書を得たり、朗吟法、發聲、讀譜、發相等に涉り悉く實例を示して懇切周到に説明せらるる苟しくも英詩を朗吟せんと欲するものは必ず一讀すべき本邦唯一の新書なり

東京唱歌學校長酒井勝軍君編輯註解

英詩朗吟集

正價各冊十二錢 郵税各冊二錢

本書は英米諸國にて愛吟せらるる興味に富める詩歌に正語略符、註解、譯歌を附して専ら青年淑女の朗吟に資せんことを欲するものなり中學程度の學級にて使用せらるれば英語を學び品性を高むるに於て益多かるべし

東京唱歌學校長酒井勝軍君著

讚美歌のうたひ方

正價拾錢 郵税二錢

從來の讚美歌うたひ方に満足せず是が改善を企てんと欲して著されたるもの基督教徒の一讀を切望す

姫路中學校教諭深澤由次郎君註釋

CHRISTMAS AT THOMPSON HALL.

正價十八錢 郵税二錢

本書は英の小説家アンソニー、トロロープ著、行文輕妙、趣向奇絶、一讀人をして捧腹絶倒せしむ、註解は詳細懇切にして英語の實力を養ふに適す

深澤由次郎君譯

捧腹絶倒のクリスマス

正價二十錢 郵税四錢

英國某旅館に起れる捧腹絶倒の滑稽談、譯文繪密、字句洗練、一語を増さず、一句を減ぜず、流麗輕快、清流の白砂の力を流るゝが如し、原文と併せ讀まれば譯を學ぶに効力あるべきを信す

明治廿六年三月七日印刷

(正價金六錢)

複製不許

發行所 東京市神田區裏神保町一番地 長井庄吉
發行所 東京市神田區三崎町三丁目一番地 小林長吉
發行所 東京市神田區三崎町三丁目一番地 小島長吉
發行所 東京市神田區裏神保町 東歐商行
發行所 東京市神田區裏神保町 太洋館
發行所 東京市神田區裏神保町 上田屋書店